

やっぱいいなあ大関
どすこい大関
大関まちづくり協議会・大関コミュニティセンター

2024年11月号
Vol.32

どすこい大関 ~やっぱいいなあ大関~

大関まつり 縁日コーナー

編集・発刊
大関まちづくり協議会 広報委員会
大関コミュニティセンター内 坂井市坂井町東12-5-1 TEL(0776)72-1957 FAX(0776)72-1935

もくじ

- 大関まつり (2)
- 大関まちづくり協議会総会 (4)
- 大関えがお朝市 (5)
ワークショップ開催
- 青少年育成市民会議 (6)
大関地区避難所開設運営
マニュアルの策定に向けて
- コミセン講座 (7)
放課後子ども教室
- ガンバ大関 (8)
委員募集
編集後記



どすこい大関 ~やっぱいいなあ大関~

ガンバ大関!!

大関まちづくり協議会では、大関在住者や出身者の方々が地区内外で頑張っている姿を紹介します！



今回のガンバ大関は、9/23(月)～9/29(日)宮崎県で開催された「第58回全日本サーフィン選手権大会」に出場した大関小学校5年生の笹原芽那さんです。

Q.まずは全日本サーフィン選手権大会出場おめでとうございます。サーフィンをやり始めたのはいつからで、きっかけは何ですか？

A.小学3年生から始めました。きっかけは、坂井市のわんぱく王国でサーフィンをやってみたら面白くて、今は波乗り塾に入って練習しています。いろんなスポーツをやってみたけど、続いているのはサーフィンだけで高校生になっても続けていきたいです。

Q.主にどこでどんな練習をするのですか？

A.波乗り塾は三国のサンセットビーチで月3回、波のある日は自主練にも行きます。波のないときも海に入って基礎練習をします。特に日本海側は波がある

冬がメインで分厚いウエットスーツを着て海に入ります。冬の海なので雷が鳴ったり、波に流されて怖い思いもするけど楽しいです。日本海側に比べて太平洋側のキッズは練習量が全然違います。でも負けられないで、波が上がると聞くとお母さんに連れて行ってもらったり、家でスケートボードみたいなものでバランスを取る練習したりして体幹トレーニングもしています。

Q.サーフィンでやりたいことや目標は？

A.サーフィン検定というものがあります。キッズで1級取っている子はあまりいないので取りたいです。そして、三国のサーフショップ「Nan's Sea (ナンシー)」が主催する「Nan's Sea Cup (ナンシーカップ)」で優勝したいです。少しづつですが、波をつかむことが出来るようになったのもっと長くボードの上に立って技ができるようになりたいです。もっとサーフィンをする子が増えるといいなあと思います。教えてくれる先生は優しくてムリじいはしないので楽しく続けていられます。先生は日頃、練習しているビーチの清掃活動も長年主催していて、私たちも練習させてもらっているビーチに感謝し一緒に清掃活動をしています。

Q.9月4日の坂井市役所に表敬訪問はどうでしたか。

全国大会への抱負と将来の夢は？

A.坂井市役所に表敬訪問したときに教育長さんに「練習で今まで頑張ってきたから大会で本気が出せるよう頑張ってきます」といいました。将来は海外へ留学してみたいです。今、英語を習っていて海外への興味もあるからです。

はにかみながらも一生懸命答えてくれる芽那さんに意図の固さを感じ、その横で優しく微笑むお母さんの姿がとても印象的でした。

編集後記

9月22日にはたくさんの人の思い
が一つになって第一回目となる大関
まつりが開催できました。老若男女
たくさんの人にお越しいただきとても楽しい思い出深い一日になっ
たと思います。これからも楽しい企画を準備してますのでみなさま
のご協力宜しくお願ひいたします。今後も地域のつながり大切にし
ながらますます大関地区を盛り上げて行きましょう。

大関を盛り上げてくれる
仲間を募集します！

大関が大好き！大関をもっとよくしたい！まちづくりに興味がある方、ぜひ一緒に活動しましょう。



LINE 公式アカウント

050wwwps 検索



Instagram

大関コミュニティセンター 検索



大関まち協メールアドレス
ohzeki-p@mx3.fctv.ne.jp

大関コミセンメールアドレス
ohzeki-cc@city.fukui-sakai.lg.jp



・コミセン講座

元気アップ体操

5月から20回シリーズで開催する健康体操です。講師の「おはようございます！」の元気な挨拶から始まり、「エイエイ、オー」の掛け声で終わる終始明るく楽しい講座です。皆さん「今日も元気をもらった」とスッキリした様子で帰っていかれます。「先生、ここが痛い場合はどうしたらいい？」「ここに来て先生の顔見ないと元気ががない」と皆さん心身共にリフレッシュされ、コミュニティの場にもなっているようです。

野菜づくり講習会【2024.6.10(月)】

「野菜づくりを始めたがなかなか上手くできない。」「専門家にきちんと習いたい。」「新種の野菜づくりに挑戦したい。」などのコミセン利用者の声にお答えし、6月10日(月)に元福井県園芸試験場長村田英一郎さんを講師にお迎えして野菜づくりのコツについて教えて頂きました。受講者から事前に質問事項を聞き、講習会の中でひとつひとつ答えて頂きました。肥料をやるタイミングや選び方、病害虫対策についても具体的に教えていただき、「これからもこんな講座をして欲しい。」と受講者は講習会が終わった後も熱心に質問をしていました。



放課後子ども教室

読書感想文の書き方教室【2024.8.6(火)】

夏休みの宿題で「読書感想文がなかなか書けなくて困る」という話を聞き、坂井図書館で読書感想文お助け教室の講師をされている西山式子さんにお願いして、感想文を書くヒントやコツをわかりやすく教えて頂きました。教室が終わった後「ちょっと書けそうな気がしてきた」「ものがたりより知識の本の方が書きやすいのか」と皆それぞれ参考になった様子でした。



チャレンジ・ザ・ゲーム【2024.8.8(月)】

坂井レクリエーション協会の高橋和枝さんのご指導でチャレンジ・ザ・ゲーム（新感覚のスポーツ・レクリエーション）の中から丸めてアンブレラ、じゃんけん列車、ポリ袋レース、美味しいんぽパズルの4つの競技を行いました。今回は体を動かすゲームから頭をつかうゲームまで盛りだくさんであつという間の1時間でした。始めのうちは参加することに躊躇していた子も最後は「楽しかった」「今度は何するの」と嬉しそうでした。



みんなの笑顔が満載 大関まつり開催！

◀市公式キャラクター
「坂井ほや丸」

ステージイベントは坂井中学校吹奏樂部の演奏でスタート。地元保育園の園児や地元の人らでつくるバンド、センター活動する団体などが次々と発表し、大きな拍手が起こっていました。センター内では短歌や俳句、あみものなどセンターで活動する団体が力作を披露。お茶席も予定数がなくなる人気で、模擬店の焼き鳥は5千本を販売するほど。地域の農家の協力でほくほくの焼き芋も登場し、多くの人が買い求めていました。おおぜき青空クラブによるたこ焼きの振る舞いには、長い行列ができていました。

お楽しみ抽選会には子どもたちも元気な声を上げて参加し、最後は昨年誕生した「新大関音頭」を全員で踊り盛況のうちに幕を閉じました。

9月22日、「第1回大関まつり」が大関コミュニティセンターで開かれ、約2千人の住民らでぎわいました。以前から地元住民の間で地区のまつりを望む声がありましたが、大関小学校が昨年創立150周年を迎えたのを機に話が具体化。大関まちづくり協議会と同コミュニティセンターほか、地域の各団体が協力し、従来のコミセンまつりも合体して今回の開催となりました。



通学路の清掃活動

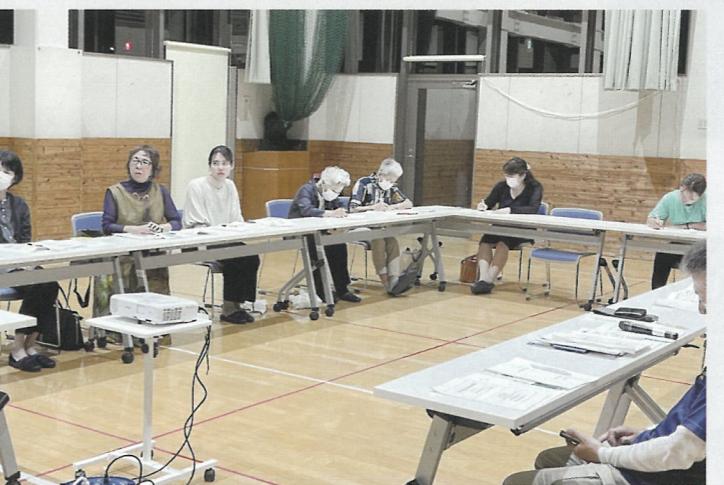
今年度から下戸区を通行する小中学生の通学路が一部変更となり、今まででは交通量の多い区域内を通行していましたが、事故などの危険性を考慮して下戸区の東側にある旧用水路跡の埋め立て地を通行しています。

さらに安全を確保するため、周辺に飛散している石や砂利などの撤去作業を7月13日に実地しました。

青少年育成市民会議大関支部では引き続き、このような活動を推進して参ります。



大関地区避難所開設運営マニュアルの策定に向けて



能登半島地震に始まり多くの自然災害が発生しているこの時期、これほど防災に対する意識が高まっていることはなかったように思われます。ただ、実際に災害が発生したときどのように行動していいのかわからないというのが、私たちの現状ではないかと思います。

避難所に限っても、現在ある避難所開設マニュアルが大関地区の実情にあったものか、誰でも活用できる

ものなのか、など多くの課題があるように思います。

当委員会では大関地区の地域の実情に合った避難所開設運営マニュアルの策定を目指し、協議を重ねています。今年の防災訓練では避難所開設訓練を実施し、この訓練のなかで浮き彫りにされた課題等をマニュアル策定に活かすとともに、地域の多くの方々のご意見等も取り入れたいと考えています。

当委員会の活動が地域の防災力向上の一助になることを切に願っています。

応援横断幕

大関地区区長会と大関まちづくり協議会では、地域で活躍し、さらに成長する「大関の星」を地区住民の方々に広く知つてもらいたい応援いただけるよう大関コミュニティセンターに横断幕を掲示しています。



大関えがお朝市をにぎやかに

7月21日(日)大関えがお朝市が開催されました。今年は子ども農園がお休みだったので子どもたちの収穫の喜びはまたの機会となりましたが、その分朝市では笑顔いっぱいに頑張りました。

農家の皆さんご自宅の畑で採れた新鮮野菜を持ち寄り、いよいよ午前9時から販売開始。時間前から並ぶ方もおられ、採れたてのナスやトマトなどをお買い求めいただきましたが、安いこともあってマイバックを一杯にして帰られる方もいらっしゃいました。



子どもたちとつくったたこ焼きやスムージーも大変人気で、あっという間になくなりました。

子どもたちは、慣れないながらも包丁でたこ焼きのタコやキャベツ、スムージー用のバナナやモロヘイヤを刻んで、下ごしらえではたくさん手伝ってくれましたよ。

第三次大関助け合いのまちづくりプラン策定に向けて ワークショップ開催



6月16日、7月14日の両日、大関小学校で第三次大関助け合いのまちづくりプラン策定のためのワークショップを開催しました。

2018年第一次プラン、2021年第二次プランでは3年間で見直しのプラン策定でしたが、今回は5年先の大関をイメージした夢物語ではないプランの策定を行いました。

両日で延べ約120名の参加があり、大人も子どもも楽しい雰囲気の中、意見を出し合う事ができました。

1回目のワークショップでは、プランの実践者から成果と課題について発表があり、関係者では気づかなかつた課題も聞く事ができ大変参考になりました。

また、2回目では、各分野別の6グループに分かれ、子どもたちは、5年先の大関についての考えを大人と相談しながらグループごとに「大関助け合いのまちづくり新聞」を作成しました。

第三次大関助け合いのまちづくりプランは、完成後には全戸配布で皆様のもとに届く予定です。



大関まちづくり協議会総会

第17回大関まちづくり協議会が4月25日(木)に開催されました。まず令和5年度の事業報告・収支決算報告の承認を受けた後、令和6年度の事業計画・収支予算も承認されました。その後の役員改選の議案では、会長以下役員の選任が可決され、再任の盛政会長の元で新年度のスタートを切ることができました。

今年度は、大関が一つになる「大関まつり」の初開催や、第三次大関助け合いのまちづくりプランの策定などの取り組みもあり、例年以上に大関の小中学生や地域の大人の方、そして各種団体の方々と一緒に進める事業ばかりです。どうぞよろしくお願いします。



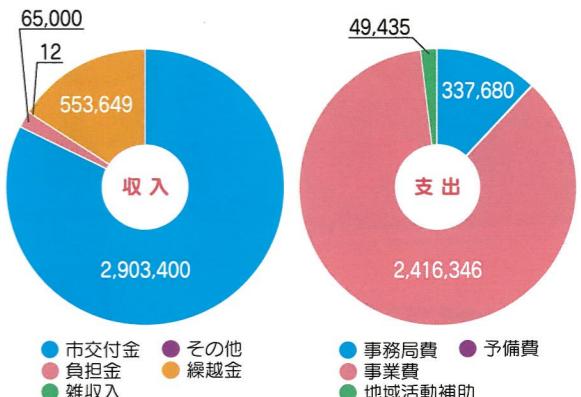
会長 盛政隆浩さん 地域の人と一緒に大関を盛り上げよう
副会長 高島正晃さん 広げよう大関の和(^o^)ノ
副会長 伊藤幸一さん みんなで作る町!!をなんとなく目指しましょう!!
理事 伊藤邦夫さん 大関を知り合いだらけの町にしよう!
理事 佐々木暢さん 「まち協」メンバー募集中です
理事 田中誠さん 日本一楽しい大関皆一緒に
理事 安久浩一さん “大関”やっぱいいですね~(笑)



理事 間海洋一郎さん みんなで一緒に楽しみましょう
理事 福嶋佳代さん 元気!好奇心!
区長会会長 竹内博信さん わいわい、がやがや、わくわく、新しい発見!
区長会副会長 小林和代さん 人が温かい大関!大好きです
区長会副会長 北島小夜子さん 大関いいです😊
会計 高橋勝彦さん ドカーンと一発!!大関もりあけたい

【収入】	
市交付金	2,903,400
負担金	65,000
雑収入	12
その他	0
繰越金	553,649
合計	3,522,061

【支出】	
事務局費	337,680
事業費	2,416,346
地域活動補助	49,435
予備費	0
合計	2,803,461



【収入】	
市交付金	3,085,351
負担金	55,000
雑収入	1,000
その他	0
繰越金	553,649
合計	3,695,000

【支出】	
事務局費	235,000
事業費	3,380,000
地域活動補助	60,000
予備費	20,000
合計	3,695,000

